

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公表番号】特表 2003-512231 (P2003-512231A)
 【公表日】平成 15 年 4 月 2 日 (2003.4.2)
 【出願番号】特願 2001-531617 (P2001-531617)
 【国際特許分類】

B 6 0 N 2/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/08

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 19 日 (2007.10.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 自動車のシート組立体を調整するシート軌道組立体であって、
 第 1 の複数の孔を備えた下側軌道と、
 前記下側軌道に摺動自在に取り付けられ、第 2 の複数の孔を備えた上側軌道と、
 前記上側軌道に取り付けられたハウジングと、
 前記ハウジング内に摺動自在に設けられ、反対方向にオフセットしている係合フィンガ
 を備える少なくとも 2 つの剪断プレートとを有し、前記剪断プレートは、前記第 1 及び第
 2 の孔に選択的に係合して前記上側軌道をロックし、これを前記下側軌道に固定するよう
 付勢され、前記剪断プレートは、前記第 1 及び第 2 の孔から外れて前記上側軌道と前記下
 側軌道の相互摺動運動を可能にする非ロック位置にロック位置から動くことができ、前記
 剪断プレートの少なくとも一方が、前記ロック位置での前記上側軌道と下側軌道の相対位
 置とは無関係に前記第 1 及び第 2 の孔と係合できる、

ことを特徴とするシート軌道組立体。

【請求項 2】 前記ハウジングは、前記上側軌道にしっかりと固定された後部プレー
 トと、対向する側壁によって前記後部プレートから間隔をあけられた前部プレートとを含
 み、

前記非ロック位置と前記ロック位置との間で前記剪断プレートを摺動自在に受け入れて
 案内するハウジングを貫くチャンネルを構成する、

請求項 1 に記載のシート軌道組立体。

【請求項 3】 前記剪断プレートは、
 前記チャンネル内に摺動自在に配置されたベースプレートを有し、等間隔に間隔をあけら
 れた複数の係合フィンガを前記ハウジングの側壁間で支持する第 1 の剪断プレートを含む
 、

請求項 2 に記載のシート軌道組立体。

【請求項 4】 前記剪断プレートは、
 前記チャンネル内に摺動自在に配置されたベースプレートを有し、等間隔をあけられた複
 数の係合フィンガを前記ハウジングの側壁間で支持する第 2 の剪断プレートを含み、

前記第 2 の剪断プレートの前記フィンガは、前記側壁間で前記第 1 の剪断プレートのフ
 ィンガから等間隔にオフセットしている、

請求項 3 に記載のシート軌道組立体。

【請求項 5】 前記第 1 及び第 2 の剪断プレートのフィンガのオフセット間隔は、2

つの隣接したフィンガのいずれもが前記上側軌道と下側軌道の孔のいずれか１つに受け入れられるようになっている、

請求項４に記載のシート軌道組立体。

【請求項６】 前記フィンガが、前記上側及び下側軌道の前記孔の中に係合した前記ロック位置に前記剪断プレートを付勢するための前記ハウジングと前記剪断プレートの各々との間に連結された付勢部材を更に含む、

請求項５に記載のシート軌道組立体。

【請求項７】 前記第１及び第２の剪断プレートの各々に作動的に連結され、前記ロック位置と前記非ロック位置との間で前記付勢部材の付勢力に抗して前記剪断プレートを前記チャンネル内で手動で摺動させ前記フィンガの各々を少なくとも前記下側軌道の孔から外す内ピンを更に含む、

請求項６に記載のシート軌道組立体。

【請求項８】 カム端部とピボット端部との間に延びる本体部分を有するカムプレートを更に含む、

前記下側軌道の少なくとも一部分と係合したロック位置と、前記下側軌道と係合解除された非ロック位置との間での前記カムプレートの回動移動させるために、前記ピボット端部が前記ハウジングに回動可能に連結される、

請求項７に記載のシート軌道組立体。

【請求項９】 前記下側軌道の少なくとも１つの孔と前記ロック位置で係合し前記カムプレートのカム端部が前記上側及び下側軌道間の偶発的な移動を防止するように、ほぼＶ字形の切欠きによって間隔をあけられた少なくとも一对の楔形歯を含む、

請求項８に記載のシート軌道組立体。

【請求項１０】 前記下側軌道は、反対側の第１及び第２の端部の間で長手方向に延び、前記下側軌道から側縁まで外方に突き出ている固定ロックプレートを含み、

前記孔が、前記ロックプレートの長手方向長さに沿って前記下側軌道と前記側縁との間に間隔をあけられている、

請求項９に記載のシート軌道組立体。

【請求項１１】 前記上側軌道にしっかりと固定された可動ロックプレートを更に含む、

前記可動ロックプレートは、前記固定ロックプレートの一側部に隣接した上側ロックプレートと前記固定ロックプレートの反対側の側部に隣接した下側ロックプレートとを含む、

請求項１０に記載のシート軌道組立体。

【請求項１２】 前記上側ロックプレートは、前記上側ロックプレートを貫通し前記下側ロックプレートの等間隔に間隔をあけられた第２の組の孔と軸線方向に整列された等間隔に間隔をあけられた第１の組の孔を含み、

前記第１及び第２の組の孔は、前記固定ロックプレートの孔と横方向に整列している、

請求項１１に記載のシート軌道組立体。

【請求項１３】 前記可動ロックプレートは、前記上側ロックプレートと前記下側ロックプレートを互いに連結する、前記固定ロックプレートの側縁のまわりにあるほぼＣ字形の部分を含む、

請求項１２に記載のシート軌道組立体。

【請求項１４】 前記剪断プレートと前記カムプレートを、前記ロック位置と前記非ロック位置との間で作動させるための前記案内ピンに連結された解除ハンドルを更に含む、

請求項１３に記載のシート軌道組立体。